





1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立倉敷中央高等学校		
実践者等	老伽幸子	実践日	令和3年11月10日
実践場面	福祉・生活支援技術		
対象生徒(学年等)	福祉科3年		
単 元 名	介護実技演習（介護グランプリに向けて）		
使用したアプリ等	Forms、Classroom		
実践の概要 (ねらい等)	各グループで介護技術の研究を深化させ、その内容をクラス内で共有する。 限られた授業時間の中で複数の介護技術を研究しあい、その成果の共有を図る。		
実践の内容			
<p>(1) 3人1グループとなり、各介護技術の演習を行う。 その際、端末を活用して演習の動作等を動画で撮影し、振り返りに活用する。 「おかやま介護グランプリ」(本選)に向けた介護項目（排せつ介助、入浴介助、食事介助）を扱う。 ※おかやま介護グランプリには、代表として1チーム（3人）が出場</p> <p>(2) 演習での介護のポイントや工夫した点を報告させる課題を Forms で配布し、回答を提出させる。(Forms)</p>			
			
<p>(3) 各グループが回答した内容をスプレッドシートで共有する。 (4) 共有した各グループの意見を参考にして、自分たちの介護技術の改善に役立たせる。 (回答をまとめたスプレッドシートを Classroom で共有する。)</p> <p>(おかやま介護グランプリに出場するグループも、本選に向けて各グループの意見を参考に、自分たちのグループの介護技術のさらなる改善を図ることができた。)</p>			
			
参考となる HP 等			